

保護者等からの事業所評価の集計結果

公表								
事業所名	てらびあぽけっと岡山中仙道教室							
公表日	2026年度2月20日							
利用児童数	30人(29家庭)	回収数	25					
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21	3	0	1	・広くもなく狭くもなく、ちょうどいいと思う。 ・以前散歩を計画されていて外の刺激も合っているなと思いました。 ・少し狭いかなと思うが、少人数にしてくれているので安心してしています。 ・個室も大部屋も十分な広さです。	・整理整頓を心掛け、少しでも広く使えるようにしていきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	23	2	0	0	・1人に1人つけてもらえてありがたいです。 ・個別支援の時に友達と取り組むことが増えてきたので、支援の時間が減っていないか少し気になります。	・ソーシャルセラピーを行う日もありますが、個別の課題の時間は確保していくようにしていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	23	1	0	1	・わかりやすい構造だと思う。 ・個室のドアにうさぎ等の動物のポスターが貼られていて工夫されています。	・子どもにわかりやすい表示を今後も行っていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	24	1	0	0	・きれいだと思う。少し床が冷たい？ ・夏頃、少し生乾きのようなにおいがする時があった。 ・いつもきれいです。	・こまめな換気をし、においにも気を付けて行きます。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	24	1	0	0	・わが子の特性となると、どちらともいえない。 ・小さな支援の積み重ねが成長に繋がっています。 ・子どもに合わせた具体的な支援が受けられています。	・お子さまの特性等を職員間で共有し、支援していきます。また、専門性を高めていけるように研修等を活用し、職員のスキルアップを目指していきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	23	0	0	2	・今のところ合っている。 ・スモールステップの積み重ねによりできることが増えています。	・支援プログラムは玄関の所に置いています。
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	24	1	0	0	・こちらの意見を十分に尊重してくれる。 ・粗大、微細運動のニーズを考慮してくれている。 ・保護者の意向もよく取り入れてもらえました。 ・面談や共有を都度していただいています。	・引き続き、アセスメントを取ったり保護者様との面談内容から作成していきます。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	22	0	0	3	・よく子どものことを観察してくださっています。	・職員間で共有し、支援を行っていきます。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	24	0	0	1	・少しずつですが、着実に成長していっています。	・職員間で共有し、支援を行っていきます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	22	1	0	2	・いろいろなプログラムをやってくれている。 ・できるようになったら、次のステップへと進めてくださっています。	・お子さまの課題等にに合わせてプログラムを組んでいき、飽きないように楽しめる教材を利用していきます。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	19	1	1	4	・まだない。	・今年度は、5月6月11月に法人内の保育園の年長児との交流会を行いました。来年度も引き続き、内容を検討しながら計画していきます。活動後にはSNSや通信、玄関に貼りだし等で活動の様子をお知らせします。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	25	0	0	0	・契約の際に2時間ほど説明がありました。	
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	25	0	0	0	・説明してくれました。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	22	3	0	0	・家庭での関わり方の動画をダウンロードさせてもらったり、参観に参加させてもらいました。強いと言うのであれば、子どもの苦手分野について、家庭でも取り組める簡単な計画などがあるとさらにありがたいと感じました。 ・困りごとを相談するとアドバイスして頂きました。	・本部が作成している動画を活用していきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	24	1	0	0	・毎回伝えてくれる。 ・毎週のフィードバックで詳しく様子を伝えてくださるのでありがたいです。 ・週に一度長めのフィードバックがあって良いです。	・引き続き、送迎時に体調の確認をさせていただきます。また、その日の様子、健康面を含めてフィードバックさせていただきます。

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	25	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・よく支援を受けている。 ・日頃、困っていることを話やすく、適切なアドバイスもしてくださっています。 ・フィードバックの際にいろいろな助言をいただいています。 ・定期的に相談できるので助かっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・6ヶ月に1度の面談に加え、利用時のフィードバックでご家庭や教室での様子を共有していきます。その中で困っていること等あれば相談していただき、必要な助言を行っていきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	25	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・みなさん優しく接してくれる。 ・前向きな発言にいつも励まされています。 	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	13	4	0	8	<ul style="list-style-type: none"> ・参観月間がある。 ・通所し始めてまだ保護者会等は開かれていません。 ・兄弟向けのイベントがあれば嬉しいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は6月に年中児、年長児向けの保護者会を開催し、小学校の先生に来ていただきました。来年度も計画を立てていきたいと思います。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	23	0	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・いつも話を聞いてくれる。 ・フィードバックの時間に相談できます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も積極的に家族支援を行い、対応していきます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	24	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・いつもこちらの状況を伺ってくれる。 ・保護者と話す時、込み入った話は子どもを部屋から出して聞かないようにしたい。 ・個室で1人1人フィードバックがあるので配慮されていると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個室や玄関先で保護者様と話をする時には、個人情報も含め気をつけて行っています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	23	1	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的にメールがきます。 ・Instagramで見れるのは簡単で見やすいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続きSNSや通信に活動内容を載せていきます。お知らせがある時は、玄関に貼りだしをしたり、メール配信させていただきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	23	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・SNSはわからないように配慮してくれている。 ・てらびあ通信で個人が特定できないように写真に加工があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員は入職時や年に一度「個人情報保護研修」を行い、個人情報保護の周知を行っています。また、書類鍵付きの棚に保管したり、個人名が書いている物に関してはシュレッダーにかけて処分しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	22	0	0	3	<ul style="list-style-type: none"> ・最初に説明を受けた。訓練はまだわからない。 ・てらびあ通信で訓練が実施されているのを確認しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各マニュアルは策定しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	20	0	0	5	<ul style="list-style-type: none"> ・まだわからない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間計画で火災や地震、不審者の訓練をお子さまと一緒に参加していただいています。訓練後は、反省等を行い、次の訓練に生かせるように話し合っています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	23	0	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・最初に説明を受けた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全計画を策定し、お子さまが安全に過ごしていただける環境を整えています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19	0	0	6	<ul style="list-style-type: none"> ・最初に説明を受けた。 ・頭をぶつけた時、フィードバックで説明がありました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発熱や怪我等があった場合、状況を見て連絡させていただいたり、お迎え時に様子をお話させていただいています。怪我や危ないと感じた際にはヒヤリハットとして職員間で共有し、再発防止に努めています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	22	2	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・まだ慣れていない。 ・最近は行き渋りなく通所しています。 ・先生が変わらないので、安心して通えています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用開始時から、お子さまとの信頼関係を築きながら、安心して通えるように努めてまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	15	7	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所に着いたら笑顔になる。 ・お友達や先生と一緒に盛り上がると「楽しかった」となるが、お友達はそこまではない様子がある。 ・行く前に「お休みしたい」と言うこともあります。 ・帰る時は「楽しかった」と言っています。 ・通所のかばんを見せると喜んで玄関に向かいます。 ・とても楽しみにしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続しているプログラム等は内容を見直したり、保護者の方と様子を共有し、お子さまが課題に取り組む中で楽しめる内容を職員間で共有していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	24	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・今のところ満足です。 ・できれば、子どもが行くのが楽しみと言ってくれる場所になると満足度が上がる。 ・おかげさまで少しずつ成長しています。ありがとうございます。 ・相談がしやすい環境で練習したいこともすぐに取り入れてもらえるのが良いです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、保護者の方と様子を共有し、お子さまに寄り添った支援をしています。

事業所における自己評価結果						
公表						
事業所名		てらびあぼけっと岡山中仙道教室				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0	・個室と大部屋と適切なスペースがあります。	・今の環境を活かした支援内容を工夫していきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	0	・職員の欠勤がある時は、他の職員が対応している。	・配置基準を守って運営をしています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0	・必要な物以外は置かないようにしています。	・狭い空間(トイレや洗面所、個室)では、怪我のないように気をつけていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0	・大部屋は活動がしやすいように、スペースを確保しています。 ・毎日朝晩の掃除や月に一度の掃除を決めて清潔に保てるようにしています。	・活動前や活動中は、温度や湿度を確認し、調節を行っています。 ・引き続き、定期的な清掃を行い、清潔な状態が保てるようにしていきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0	・個室はドアを閉めることができるようになっています。	・必要に応じて対応していきます。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	0	・月目標の設定や月末には反省を行っています。	・引き続き、定期的な会議を実施していきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	・年に一度の評価表により、改善点を話し合っている。	・改善点を職員間で共有していきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	・職員には月に一度の健康度チェックを行ったり、年に数回面談を管理者が行っています。 ・定期的な会議や終礼で職員が意見を言える場を設けています。	・引き続き行っていきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	0	・年に一度本部の監査を受け、業務改善を行っている。	・引き続き評価を受け、業務改善を行っていきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	・本部主催の研修やその他教室内研修を行っている。 ・児発管は、2ヶ月に1度岡山市の子ども部会に参加し、職員に共有しています。	・引き続き各研修に参加し、職員の資質の向上を図っていきます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0	・玄関に貼りだしています。	・保護者の方にも見てもらえるように掲示していく。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4	0	・アセスメントシートを活用し、支援計画を作成しています。	・引き続き、保護者の方のお話や職員から見た様子から支援計画を作成していきます。 ・アセスメントシートを活用したり、普段の様子も記録していきます。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	・普段の様子も反映しながら、支援計画を作成しています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	・カンファレンスを行い、共通理解を図っています。また、支援計画は普段でも見やすい所に入れています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0	・アセスメントシートを活用しています。また、普段の様子も記録に残しています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0	・5領域を意識した計画を立てています。	・プログラムは職員間で相談しながら進めていきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	・職員間で相談しながら行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	・小集団活動は、週ごとに決めています。 ・個別プログラムは、長く続いているターゲットはないか確認しながら行っています。 ・週2日以上利用している児童は続けて同じものをしないようにプログラムを組んでいます。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ て児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4	0	・支援計画と特別支援計画を作成してい ます。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援 の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っ ているか。	4	0	・担当児童の準備の時に、支援内容を確認・共有 を行っています。 ・データが統一されるように、データ用紙に付箋を 貼ってわかりやすいように記入しています。 ・朝は各自確認し、終礼で翌日の申し送りを行っ ている。	・引き続き、終礼や会議で支援内容を共 有したり、準備の時に前回の担当職員に 確認していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支 援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0	・終礼を行い、その日の様子(気になったこと・で きたこと等)を伝え、共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善 につなげているか。	4	0	・データを取ったり、引継ぎ用紙を活用してい ます。 ・気づいたことはメモをしたり、他の職員に共 有する。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要 性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	・半年に1度面談を行い、必要に応じて支援 計画の見直しを行っています。	・更新時期のギリギリにならないように、早め に保護者の方に案内し面談を行っていきま す。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議 に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	・担当者会議が開催される時には参加してい ます。	・必要に応じて相談支援事業所の利用を進め ていきます。 ・サービス担当者会議が開催される場合に は、児発管が参加するようにします。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保 育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている か。	4	0	・保護者の方を通して、通っている園や併用事業所 との連携を行っています。	
	26	併利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進 の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こ ども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等 の情報共有と相互理解を図っているか。	4	0	・保護者の方の希望があれば、関係機関連 携を行い様子を見たり、担任の先生とお話す る時間をいただき情報共有を行っています。	・引き続き、通っている園や併用事業所 との連携に努めていきます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間 で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	0	・小学校入学後、行かせてもらいました。	・ご希望があれば行っていきます。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連 携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受 けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積 極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスー パーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	0	・子ども部会に参加し、助言をいただいでい ます。	・引き続き連携を行っていきます。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこ どもと活動する機会があるか。	4	0	・法人内の保育園との交流会を計画実施して います。	・来年度も引き続き、内容を検討し計画 を立てていきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況 や課題について共通理解を持っているか。	4	0	・利用ごとのフィードバックや必要に応じて話す機 会を設けて共有を行っています。	・丁寧なフィードバックを心がけていきま す。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プロ グラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修 の機会や情報提供等を行っているか。	4	0	・参観月間を開催し、一緒に参加する機会を 設けています。	・来年度も参観月間や保護者会の計画 を立てていきます。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を 行っているか。	4	0	・契約時に説明させていただいています。	・引き続き行っています。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊 重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや 家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	・半年に1度面談を行い、様子や課題を共有 しています。	・引き続き行っています。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護 者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4	0	・同意を得る時は、必ず支援計画を見ながら 説明させてもらっています。	・引き続き行っています。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応 じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	・セラピーノートに記入していただいたり、困りご とがあればお聞きしています。 ・利用時のフィードバックで最近の様子を聞くように しています。	・引き続き行っています。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等によ り、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしてい るか。	4	0	・毎年保護者会を計画しています。	・来年度も保護者会を計画していきま す。

保護者への説明等	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	・相談があった場合には、時間を取って話をしています。	・引き続き行っています。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4	0	・毎月の『てらびあ通信』やInstagram、リタリコで様子をあげています。	・保護者の方に見ていただくように、メール配信していること等声をかけていきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	・個人名の入っている書類は、鍵付きの棚にしまっています。また、必ずシュレッダーにかけて処分しています。	・通信やInstagram等に使った写真に関しても適切に破棄しているか確認を行っていく。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	・写真付きのプログラム資料や実際の教材を見てもらいフィードバックさせていただいています。	・引き続き、わかりやすいフィードバックを心がけていきます。 ・専門用語はわかりやすく言い直して伝えていきます。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	4	・招待はしていないが、戸外活動の機会を作り、地域の方に会った時には挨拶をしています。	・戸外活動時(平日Aクール)を行い、ごみ拾いや近隣の方に会った時には積極的に挨拶をしています。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0	・各マニュアルは策定しています。 ・訓練は年間計画をに伴い実施しています。	・避難訓練を実施した時には保護者の方に伝えていきます。 ・各マニュアルは適宜見直しを行い、職員間で共有していきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0	・年に数回避難訓練を行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	0	・契約時に病気等確認しています。	・契約後、職員でアセスメントの内容を共有しています。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	0	4	・食事をとることはないが、契約時に確認しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0	・計画に伴い、実施しています。	・引き続き行っています。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0	・教室前の道路を渡る時の様子を見させてもらい、声をかけています。	・引き続き、事故や怪我のないように声をかけていきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	・ヒヤリハットがあった場合は、記録をとり職員間で共有しています。	・引き続き行っています。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	・虐待防止研修を行い、共通理解を図っています。	・引き続き、虐待防止、身体拘束研修を行い全職員が理解し共有していきます。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	0	・身体拘束については、契約時にお話しさせていただいています。	

事業所における自己評価総括表				
公表				
○事業所名	てらびあぽけっと岡山中仙道教室			
○保護者評価実施期間	2026年1月6日		～	2026年1月24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30人(うち兄弟2名)	(回答者数)	25人
○従業者評価実施期間	2026年1月6日		～	2026年1月24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4人	(回答者数)	4人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 14日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	法人内の保育園との交流会や連携が実施しやすいこと。	・今年度も交流会を3回計画し実施しました。 ・法人内保育園に通っている児童の関係機関連携を積極的に行っている。	・引き続き、交流会開催の計画を行っていきます。 ・利用児童が誰でも参加できるように案内を行っていきます。
2	保護者の方の声を聞きながら、成長に合わせたプログラムを組むことができる。	・半年に1度の面談に加え、利用ごとの家族支援によるフィードバックで、保護者の方に様子を聞き必要に応じてプログラムを組み替えていく。	・保護者の方の話を記録に残し、職員間で共有を行っていきます。
3	どのクールに来所しても流れが決まっているので、利用児童が来所した際に何をするのか見通しがつきやすい。	・来所してからの片付けや流れに不安がある児童に対しては、見通しが持てるように視覚支援を行っています。	・引き続き、一人一人の特性等に合わせた対応を行っていきます。
	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	セルフプランで利用されている方が多い。	・相談支援事業所を周知されていない方が多くいるように思われる。	・相談支援事業所の案内を行っていきます。
2	行事(保護者会)の案内や、避難訓練実施後の周知をしている方が、職員が思っているよりも少ない。	・保護者会は、年齢に合わせた開催を行わなかった為、周知していない方が多くいたように思われる。 ・活動後は通信に載せたり、SNSに投稿しているが周知されている方が少ない。	・通信やSNSに投稿する以外に、玄関にも貼りだしを行っていきます。
3	通所を楽しみにしている児童が半数しかいない。	・プログラムを詰め込みすぎている可能性がある。	・プログラムの見直しを行い、優先順位をつけて支援を行っていきます。